

令和6年度の予算規模

会計名		予算額	増減率（％）
一般会計		193億8,700万円	6.77
特別会計	国民健康保険事業特別会計	43億3,106万円	△1.98
	後期高齢者医療特別会計	6億606万円	12.82
	介護保険事業特別会計	40億3,908万円	1.05
	矢野目西地区 土地区画整理事業特別会計	2億2,801万円	0.00
	特別会計合計	92億421万円	0.26

会計名		収益的収支	資本的収支
企業会計	水道事業会計	収入 14億107万円	3億3,764万円
		支出 12億7,489万円	6億6,880万円
	下水道事業会計	収入 21億7,040万円	8億5,620万円
		支出 20億4,899万円	11億3,996万円
	特定公共下水道 事業会計	収入 2億140万円	1億6,437万円
		支出 1億9,209万円	2億1,115万円

まちづくりの基本となる令和6年度各種会計予算が、第2回市議会定例会で可決、成立しました。

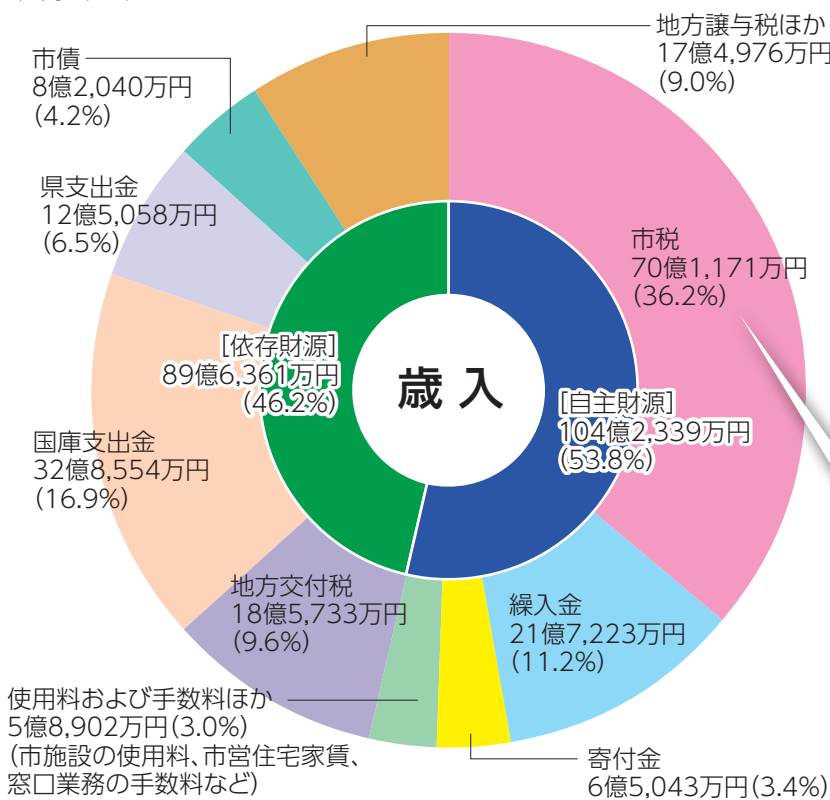
一般会計予算は、前年度当初比で6・77%増の193億8700万円となりました。

今年度は「利便性が高く魅力的なまちづくり」「活力のあるまちづくり」「一人ひとりが住みよいまちづくり」および「笑顔あふれるまちづくり」を重点施策と位置付け、これらの取り組みを着実に推進していきます。

※歳入・歳出のグラフ内の金額については1万円未満を四捨五入しているため、総額と一致していない場合があります。

令和6年度予算の概要

歳入



歳入総額
193億8,700万円

歳入は、市税や使用料、寄付金などの自主財源と地方交付税や国・県支出金などの依存財源で構成されています。

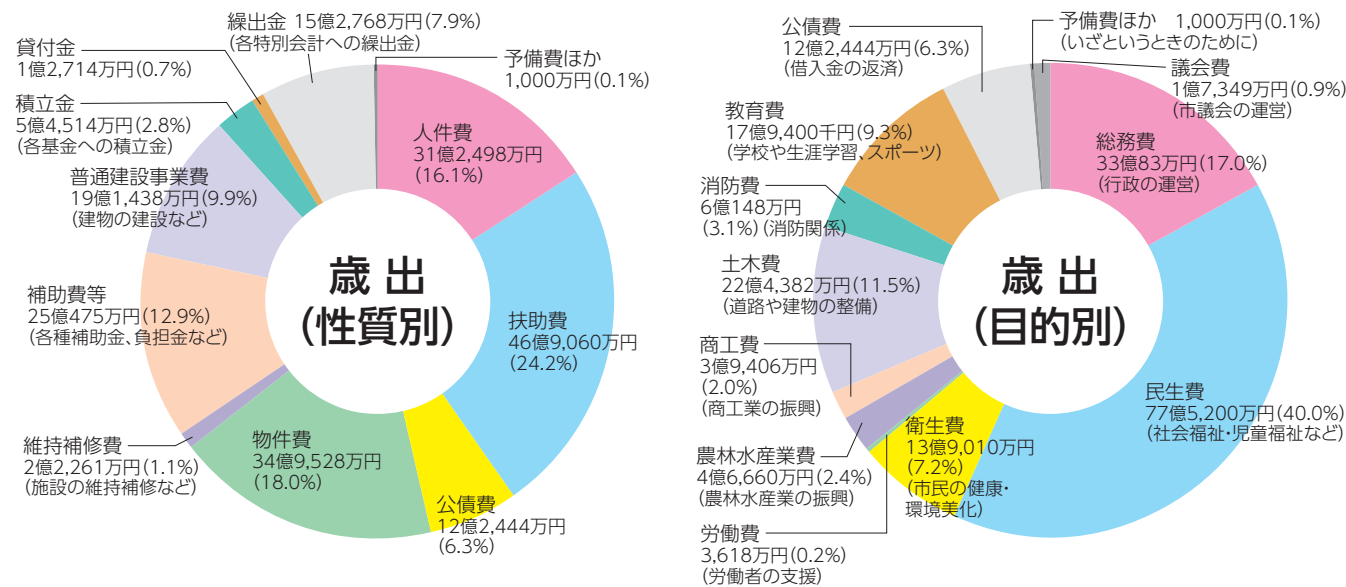
市民税	23億5,151万円
固定資産税	36億1,570万円
軽自動車税	1億2,400万円
市たばこ税	3億6,210万円
都市計画税	5億5,840万円

用語の解説 市税：市民の皆さんから納めていただいた市民税や固定資産税など 地方交付税：所得税、消費税、酒税などの国税の中から市の財政状況に応じて国から交付されるお金 国庫・県支出金：国・県の施策による特定の事業を行う場合の財源として交付されるお金 寄付金：市に寄付されたお金で、ふるさと納税も寄付金に含まれます 市債：市が公共施設を建設するときなどに国や銀行から借り入れる資金 人件費：市議会議員、市長、市職員などの報酬や給料 扶助費：児童・高齢者・障害者福祉、生活保護などに使われるお金

歳出

歳出には「目的別」と「性質別」という分類があり、「目的別経費」は、民生費や農林水産業費、土木費、教育費などの目的別に分類しています。「性質別経費」は、人件費や扶助費などの経費の性質に応じ分類しています。

歳出総額
193億8,700万円



市民1人当たりで見る予算額 (人口：令和6年2月29日現在の43,434人で計算)

市民1人当たりの市税収入額 161,434円		市民1人当たりの支出額 446,125円 ※予備費を除いて算出しています。						
市民税	固定資産税	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	
								
54,139円	83,246円	3,994円	75,996円	178,478円	32,005円	833円	10,742円	
都市計画税	軽自動車税ほか	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費		
								
12,857円	11,192円	9,073円	51,661円	13,848円	41,304円	28,191円		

令和6年度 地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途について

地方消費税交付金の社会保障財源化分については、社会保障施策に要する経費に充てます。

予 算 科 目		経 費	特 定 財 源			一般財源	
款	項		国県支出金	地方債	その他	うち地方消費税交付金 (社会保障財源化分)相当額	
民生費	社会福祉費	31億5,498万円	11億4,501万円	2,870万円	2,129万円	19億5,998万円	2億7,949万円
	児童福祉費	40億5,094万円	19億5,707万円	3,410万円	1億1,931万円	19億4,046万円	2億3,974万円
	生活保護費	5億3,062万円	3億7,565万円	0円	1万円	1億5,496万円	2,154万円
衛生費	保健衛生費	6億7,623万円	1,879万円	1億500万円	2,336万円	5億2,908万円	5,870万円
合 計		84億1,277万円	34億9,652万円	1億6,780万円	1億6,397万円	45億8,448万円	5億9,947万円

令和6年度

主な事業をお知らせします

今年度に実施する事業の中で、主なものを紹介します。その他の事業にも取り組みながら、各種施策を展開していきます。

新規の取り組み

こども・子育て支援パッケージ

「子育てしやすいまち」として、子育て環境の充実を図っていきます。保育料の第2子以降無償化、公立保育所・放課後児童クラブでの出入、確認や保護者との連絡ができるアプリの導入、保育所などの3歳以上児の給食のご飯を無償提供するなどの事業を行い、子育て世帯の負担軽減を図ります。(36ページに関連記事)

AI乗合バス運行業務

決められたルートや時刻表は存在せず、利用者の予約状況を基にAIが最適な道順を割り出し、乗り合いをしながら9人乗りの小型バスが市内中心部の乗降ポイント間を運行し、公共交通環境の利便性向上を図ります。

ハナトピア岩沼施設設計業務など

子どもの遊び場を中心に、ファミリ層や年配の方など、多世代が交流する施設としてハナトピア岩沼をリニューアルします。

令和8年度オープンに向け、施設の設計を行います。市内外から人が集まり、にぎわいを創出する市の新たな人気スポットとなるように準備を進めていきます。

土地区画整理事業可能性調査業務

幹線道路沿いの市街化調整区域において、土地区画整理事業などによる住宅地整備が可能かどうかを調査するものです。

候補地への区画整理計画、事業収支計画、市場性調査などを行い、市街地開発の優先度が高い区域を選定します。その後、土地を所有する方へのアンケート調査を実施する予定です。

市民会館施設補修事業

開館38年目となる市民会館の大ホールと中ホールのつり物ワイヤーを利用者の安全を確保するために修繕します。

大ホールの一席ごとの座席の幅を広くすることで、利用者が観覧しやすくなるように改善します。座席数は700席程度になります。

利便性が高く魅力的なまちづくり

デジタルの力を積極的に活用し、保育業務支援アプリや公共施設のオンライン予約システムなどを導入することで、デジタル化による効率化とコストの削減を図ります。

ふるさと納税等寄附管理事業

市の財政状況を豊かにするためふるさと納税による財源確保を行っていきます。

ふるさと納税の事務を一元的に行う部署を新設し、商品開発やプロモーションを行いさらなる財源確保に努めます。



シティプロモーション推進事業

移住・定住や企業誘致の促進、関係人口やふるさと納税寄附額の増加を目的に、市のイメージアップとなる情報発信を実施します。また、市ホームページの改修を行い、情報が取得しやすい環境の構築に努めます。

活力のあるまちづくり

市の地理的優位性と地域資源について幅広くシティブロモーションを展開し、本市を支える各種産業のさらなる活性化と新たな人・産業の流入を促進することで、将来にわたり魅力にあふれ、活力のあるまちづくりを進めていきます。市への愛着を育み、市民の主體的なまちづくりへの参画につなげる取り組みも推進していきます。

物価高騰により、依然として厳しい経営環境にある市内中小企業・小規模事業者に対しては、その状況把握に努め、事業継続に向けた支援を行うとともに、商工会と連携した創業支援にも力を入れていきます。

■(仮称)創業支援補助金……………200万円

市内で起業する方を対象とした補助金を交付します。起業家の経済的負担を軽減するとともに、地域経済の活性化やにぎわいづくり、さらには岩沼市で起業することによる移住・定住者の増加へとつなげていきます。

■企業立地推進事業……………1億8994万円

産業用地への積極的な企業誘致を継続するとともに、産業の振興と雇用の創出を図るため、新規立地・増設拡大をする企業に対して奨励金を交付します。

一人ひとりが住みよいまちづくり

住み慣れた地域で生きがいを持ち、支え合い、主体的に健康づくりを進めていけるよう、岩沼市健康づくり市民計画に基づき、健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進していきます。生涯を通じて女性の健康にも着目し、妊娠期の健康支援や子宮がん予防に関する啓発も強化します。

■母子保健事業……………6665万円

妊産婦・乳幼児健診や相談などの各種保健事業を実施し、妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。産後ケア事業は利用施設の広域化を行い、産後間もない母子に対する支援の充実・強化を図ります。

■地域安全(防犯)事業……………1562万円

犯罪のない安全で安心なまちづくりの実現に向けた取り組みの一環として、町内会などに対し、防犯カメラおよび防犯灯の設置費などの補助金を交付します。啓発活動などによる防犯意識の向上や犯罪被害者などへの理解促進を図ります。(17ページに関連記事)

■交通安全推進事業……………1083万円

交通事故のない社会を目指して、交通指導隊による朝の街頭指導や春と秋の交通安全運動を通じた啓発活動、交通安全教室などを行い、交通安全意識と交通マナーの向上を図ります。

笑顔あふれるまちづくり

子どもたちの笑顔であふれ、若い世代が集う活気あふれるまちづくりを進めるとともに、休日の部活動の段階的な地域移行「岩沼モデル」を進めていきます。

市の魅力を効果的に発信するシティブロモーションや宅地の確保施策との相乗効果を生み出しながら、市外子育て世代に対するアピールを強化し、子育て世代の移住・定住を促進します。

■放課後児童健全育成事業……………4648万円

保護者が就労などの理由により、放課後留守家庭となる児童の居場所を運営するための費用です。岩沼西小学校の敷地内に西児童センター放課後児童クラブ新分室を整備し、4月から児童の受け入れを行います。

■スポーツ振興事業……………1437万円

上位スポーツ大会出場者へ報奨金を交付し、スポーツへの意欲的な取り組みを応援します。(19ページに関連記事)

少子化により部活動の継続が困難になっている学校があることから、部活動の地域への移行を進めていきます。所属している学校を問わず、生徒の希望に合わせた活動方法が選択できる環境をつくりまします。

